



【川カシャ!2013
第32回川の写真コンクール展示会】



【平成25年度茨城県河川協会・茨城県砂防協会合同講演会】



県内各地では梅の花も満開を迎え、一日と暖かくなり、春も目の前までできてきていることを思わせる日々となっております。

今回のかかわら版では、2月に開催しました川の写真コンクール展示会と茨城県河川協会・茨城県砂防協会合同講演会、茨城県土木技術発表会の報告、県内でご活躍されている河川愛護団体の紹介をします。

今後、皆様からのご質問やご意見を伺いながら編集して参りたいと思っておりますので、ひきつづき河川かわら版をよろしく願います。

○ 第32回川の写真コンクール展示会



○ 本県関係の入選作品



小学生の部 銀賞
リリーベール小学校3年 吹原 雨京

中学生の部 銅賞
東海中学校2年 矢作 和子

受賞作品については、国土交通省関東地方整備局のホームページでご覧いただけます
<http://www.ktr.mlit.go.jp/river/chiiki/index00000003.html>

国土交通省関東地方整備局では、河川愛護月間の一環として、河川愛護思想の普及と啓発を図るため、関東地方整備局管内の小中学生、中学生及び高校生を対象に、昭和56年より「川の写真コンクール」を開催しております。今年度は応募総数約6、500点の中から金賞など計57作品が入賞いたしました。今回、第32回入賞作品の展示会を2月25日(火)～3月2日(日)までの6日間、県庁舎2階県民情報センターにて開催いたしました。

平成26年2月18日(火)に茨城県河川協会・茨城県砂防協会合同講演会を、水戸市内で開催いたしました。当日は、県内の市町村職員や消防本部職員など87名のご参加をいただきました。

講演会では、本県河川整備計画検討委員会の委員長である筑波大学名誉教授西村仁嗣氏による「これからの河川・海岸整備のあり方」をテーマにお話しいただき、県内における河川の整備、津波の発生要因や対策など大変興味深い内容でした。

また、「日川砂防工事がもたらしたかどうか? ワインの郷」について、当課職員が概要を説明しました。

日川砂防は、現在の山梨県甲州市に位置し、明治40年の大水害を契機に砂防事業に着手しました。勝沼堰堤と水制群・堰堤群であり、近代砂防の礎を築いた歴史上重要な構造物で、この事業が扇状地のゆたかなぶどうとワインの郷をもたらしたという内容を説明しました。



講演をいただきました筑波大学名誉教授 西村氏

第27回茨城県土木技術発表会が、2月12日(水)に開催され、急傾斜地崩壊対策事業(長禅寺下地区(取手市)ノンフレーム工)樹木を保全した斜面安定工法)について、竜ヶ崎工事事務所が発表を行いました。

長禅寺下地区は、取手駅から東へ約400mにある丘陵部で、がけ下に保全人家19戸を有した急傾斜地です。斜面のケヤキ林は、市の保全緑地として指定され、市街地における貴重な緑地となっている箇所です。

このようなことから、景観や環境の保全に配慮できるノンフレーム工法を採用した急傾斜地崩壊対策の事例紹介を行いました。



景観や環境の観点から、斜面の樹木保全が可能であるノンフレーム工法で施工いたしました。



このコーナーでは、県内でご活躍されている河川愛護団体について、紹介します。

団体名 〔左平田新田環境保全会〕(常総市)

左平田新田環境保全会のみなさんは、地元を流れる東仁連川や飯沼川において、草木が覆い茂り、ゴミの不法投棄が見受けられたことから、河川を含めた地域の美化活動に取り組みられています。

主な活動内容としては、東仁連川・飯沼川の併せて約1.5キロメートル区間における河川敷の除草やゴミ拾いなどの清掃を、地域住民が協力し合い、年4回実施しております。

活動状況



ゴミ拾いなどの清掃活動を行っています。

団体名 〔市立高道祖小学校〕(下妻市)

高道祖(たかさい)小学校のみなさんは、平成9年から長年にわたり、小学5・6年生が中心となり、保護者や地域のみなさんと一緒に、小貝川河川敷に残っている準絶滅危惧種であるフジバカマを守るため、自生地の保護や堤防の除草などを行っています。

児童のみなさんは、フジバカマを学校で繁殖させ、河川敷に移植したり、保護を呼びかける広報誌を学区内の全戸へ配布するなどの活動も行っています。

活動状況



みんなで力を合わせフジバカマの保護活動を行っています。

【河川かわら版】

発行 茨城県土木部河川課

〒310-8555 水戸市笠原町978番6

TEL 029-301-4485

http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/doboku/01class/calss06/



茨城県